

Press Release

報道関係者各位

平成22年4月15日

株式会社ユビテック

(大証HC 6662)

**IPA、「国内外の自動車の情報セキュリティ動向と意識向上策に関する調査報告書」を一般公開
～ユビテックが自動車の情報セキュリティの現状と課題の調査に協力～**

ユビキタスプラットフォーム事業の創生を目指す株式会社ユビテック（東京都品川区、代表取締役社長：荻野 司、以下「ユビテック」）は、独立行政法人 情報処理推進機構（東京都文京区、理事長 西垣 浩司、以下「IPA」）より一般公開された「国内外の自動車の情報セキュリティ動向と意識向上策に関する調査報告書」の作成に協力しました。本調査報告書は、IPAのホームページにて詳細をご覧ください。

(http://www.ipa.go.jp/security/fy21/reports/emb_car/index.html)

本調査報告書は、平成21年3月10日に発表した「自動車と情報家電の組込みシステムのセキュリティに関する調査報告書」*1に続き公開されたもので、IPAが取り組んでいる組込みシステムの情報セキュリティ対策推進の一環として行われたものです。

近年、電子制御技術の進展に伴い、一台の自動車に利用される車載コンピュータ（Electronic Control Unit：ECU）の数は増加を続けています。加えて、自動車内の情報システムの共通化やネットワーク化によって、攻撃手法の共通化やインターネットなどの外部ネットワークからの攻撃が可能となるなど、自動車においても、PCを利用する場合と同様に情報セキュリティ上の脅威に備える必要性が高まっています。もしECUのソフトウェアに悪意ある書換えがなされた場合は、勝手にブレーキ操作をされる、自動料金収受システムによる料金所通過を妨害されるなど、大きな交通事故を招く可能性もあります。

そこでIPAは、攻撃によって生じる脅威と、将来必要になるであろう自動車の情報セキュリティ対策を把握するため、自動車情報セキュリティに関して欧州の先行的な取り組みおよび自動車の情報セキュリティの普及施策として活用の可能性が考えられる国内の諸制度について調査を行い、報告書としてまとめました。

今回の報告書では、国内外の動向を記すとともに、我が国における自動車の情報セキュリティ推進にむけた課題を以下の3項目にまとめました。

- ① 自動車の製品ライフサイクル全体を通して自動車関連業界が取り組むべき情報セキュリティ対策
- ② 自動車利用者を含めた情報セキュリティ意識の向上と脅威の認識
- ③ 整備・車検等の制度を利用した、定期的な情報セキュリティ対策推進の体制づくり

ユビテックは各種情報家電や車載機端末の組込み機器開発における豊富な経験と技術を活かし、事務局として検討会運営、調査および報告書の取りまとめに協力しました。

引き続きユビテックは、安心・安全に製品が利用できるよう、研究・開発を進めていき、研究成果を活用した製品開発を進めてまいります。

* 1：IPA、「自動車と情報家電の組込みシステムのセキュリティに関する調査報告書」を一般公開～ユビテックがセキュリティ課題調査に協力～

http://www.ubiteq.co.jp/news/pdf/20090310_ipa-press.pdf

【本件に関するお問合せ先】

株式会社ユビテック 担当：管理本部 総務課

電話：03-5487-5560 FAX：03-5487-5561

以上